

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 ・定時株主総会 3月31日
・期末配当 3月31日

公告方法 電子公告により行います。

(当社のホームページに掲載
<https://www.utoc.co.jp/>)

事故、その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様は、当社が開設した特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

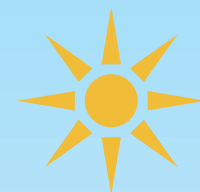
「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や、確定申告の資料としてご利用いただけます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



株式会社 宇徳

〒231-0007
神奈川県横浜市中区弁天通六丁目85番地
TEL: 045-201-6931
証券コード 9358



第152期 株主通信
2018.4.1 ~ 2019.3.31

UTOC PRESS

NEWS FLASH

大型原油タンカー搭載用のSOxスクラバー輸送を完遂



株式会社 宇徳

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社 152 期における取り組みおよび成果についてご報告申し上げますとともに、今後の見通しについてご説明申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

田邊 昌宏

Q 当期の営業概況はいかがでしたか

A 営業収入は 589 億 79 百万円 (前年同期比 5.6% 増)、営業利益は 33 億 91 百万円 (同 5.5% 増)、経常利益は 36 億 94 百万円 (同 7.8% 増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 24 億 68 百万円 (同 4.3% 増) と、増収増益を達成しました。

当期は、従来、経常利益ベースで過半を占める港湾事業において、親会社である株式会社商船三井を含む邦船 3 社が、それぞれのコンテナ船事業を統合するという歴史的な転換期でした。残念ながら、

この統合船社の初期段階での混乱により、当社ターミナルのコンテナ取扱い量が減少するなど強い逆風が吹きましたが、同ターミナル事業での効率的な事業運営に加え、在来船荷役の伸長や港湾施設・物流施設での収益拡大・採算向上対策の徹底、国内外での各種プラント工事を安全に完工させるなど当社グループがひとつとなり、困難な事業環境に立ち向かった結果、前述の経営成績を取めることができました。

Q 来期の見通しはいかがですか

A 営業収入 559 億円 (当期比 5.2% 減)、営業利益 29 億円 (同 14.5% 減)、経常利益 30 億円 (同 18.8% 減)、親会社株主に帰属する当期純利益 20 億円 (同 19.0% 減) と、当期 (2019 年 3 月期) 比で減収減益となる見通しです。

これは海外での大型プラント組立工事が一段落し、新たな受注までの端境期となること、また、港湾・物流事業でも国内における各種下払い費用の増加等のコスト上昇が主要因となります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします

A 当社は「重量物の宇徳」として創業時より「モノ」を運ぶサービスを提供し、その技術と伝統、そしてお客様からの信頼を守りながら港湾・プラント・物流事業の業容を拡大し企業価値の向上を目指しております。当社を取り巻く事業環境は年々変化しておりますが、当社がもつ多様性を活かし機敏に対応す

ることで新たな事業機会の創出が可能と考えております。今後も当社グループ役員一人ひとりが事業活動を通じ人々の暮らしと経済活動の向上に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

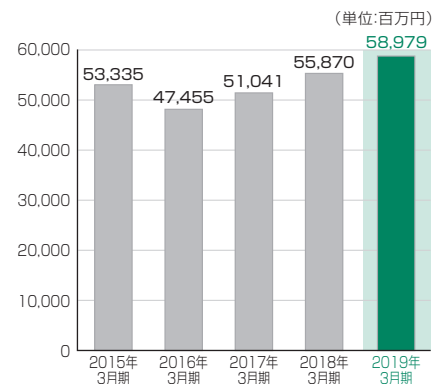
1. 顧客のニーズと時代の要請に沿った高品質なサービスの提供を通じ社会に貢献し、企業価値の向上を目指します。
2. 社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、チャレンジ精神豊かな人間性を尊ぶ企業を目指します。
3. 全ての事業領域での安全確保の徹底と環境保全に努めます。

業績の推移(連結)

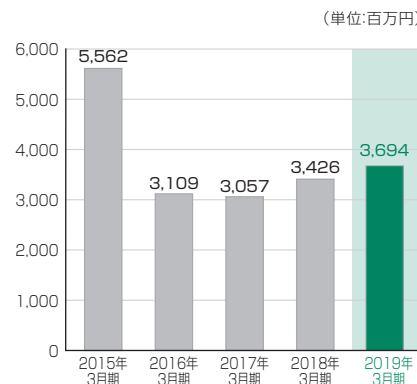
第152期ハイライト

営業収入	589億79百万円	前年同期比	+ 5.6%
経常利益	36億94百万円	前年同期比	+ 7.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	24億68百万円	前年同期比	+ 4.3%
1株当たり当期純利益	57円7銭	前年同期比	+ 4.3%

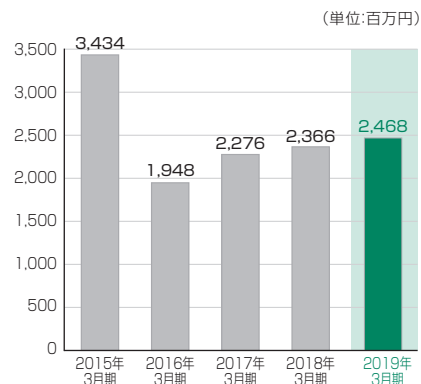
営業収入



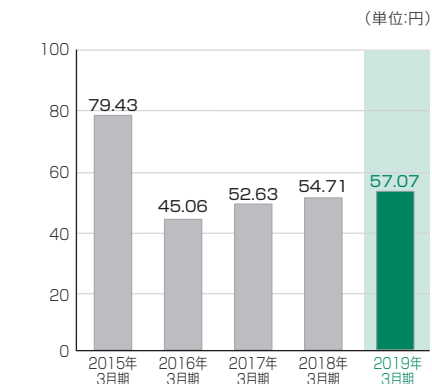
経常利益



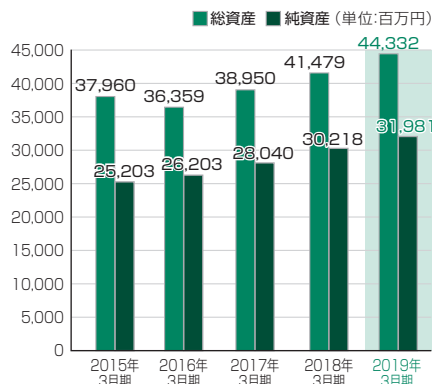
親会社株主に帰属する当期純利益



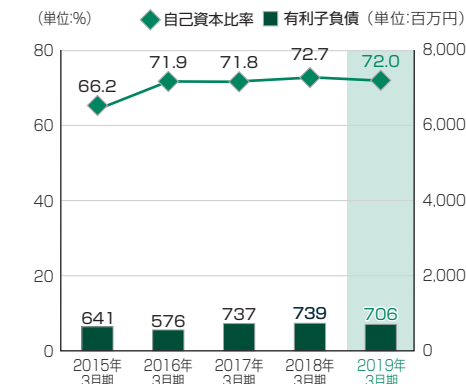
1株当たり当期純利益



総資産／純資産



自己資本比率／有利子負債



財務諸表(連結)

2018 Apr.-
2019 Mar.

UTOOC PRESS

連結貸借対照表(要旨)

科目	期別	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
●資産の部			
流動資産		26,585	24,159
現金及び預金		4,212	3,421
受取手形及び営業未収入金		11,885	9,640
その他		10,599	11,214
貸倒引当金		△ 112	△ 117
固定資産		17,747	17,319
(有形固定資産)		(10,625)	(9,797)
建物及び構築物		3,905	4,171
機械装置及び運搬具		2,547	2,039
土地		2,606	2,665
その他		1,565	921
(無形固定資産)		(2,343)	(2,553)
(投資その他の資産)		(4,778)	(4,969)
投資有価証券		2,211	2,362
その他		3,007	2,932
貸倒引当金		△ 440	△ 325
資産合計		44,332	41,479

科目	期別	当期 2019年3月31日現在	前期 2018年3月31日現在
●負債の部			
流動負債		8,949	7,746
支払手形及び営業未払金		5,008	3,971
短期借入金		659	663
1年内返済予定の長期借入金		27	27
その他		3,254	3,083
固定負債		3,402	3,514
退職給付に係る負債		2,767	2,770
その他		635	744
負債合計		12,351	11,260
●純資産の部			
株主資本		30,693	28,657
資本金		2,155	2,155
資本剰余金		330	330
利益剰余金		28,237	26,202
自己株式		△ 30	△ 30
その他の包括利益累計額		1,222	1,495
その他有価証券評価差額金		792	911
為替換算調整勘定		488	635
退職給付に係る調整累計額		△ 58	△ 51
非支配株主持分		65	66
純資産合計		31,981	30,218
負債及び純資産合計		44,332	41,479

(単位:百万円)

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業収入		58,979	55,870
営業支出		46,981	43,994
営業総利益		11,997	11,876
業務費及び一般管理費		8,606	8,661
営業利益		3,391	3,215
営業外収益		342	287
営業外費用		39	75
経常利益		3,694	3,426
特別利益		97	276
特別損失		72	36
税金等調整前当期純利益		3,719	3,666
法人税、住民税及び事業税		1,141	1,324
法人税等調整額		110	△ 23
当期純利益		2,468	2,366
親会社株主に帰属する当期純利益		2,468	2,366

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,152	4,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,651	△ 3,589
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 636	△ 598
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 61	57
現金及び現金同等物の増加額		804	155
現金及び現金同等物の期首残高		3,077	2,839
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	83
現金及び現金同等物の期末残高		3,882	3,077

連結株主資本等変動計算書(要旨) 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,155	330	26,202	△ 30	28,657
当期変動額					
剰余金の配当			△ 432		△ 432
親会社株主に帰属する当期純利益			2,468		2,468
連結範囲の変動			—		—
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,035	△ 0	2,035
当期末残高	2,155	330	28,237	△ 30	30,693

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	911	635	△ 51	1,495	66	30,218
当期変動額						
剰余金の配当						△ 432
親会社株主に帰属する当期純利益						2,468
連結範囲の変動						—
自己株式の取得						△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 118	△ 147	△ 7	△ 272	△ 0	△ 273
当期変動額合計	△ 118	△ 147	△ 7	△ 272	△ 0	1,762
当期末残高	792	488	△ 58	1,222	65	31,981

セグメント別概況(連結)

2018 Apr.-
2019 Mar.

UTOOC PRESS

港湾事業

港湾運送作業、ターミナル作業および港湾関連作業



営業
収入

234億 28百万円

経常
利益

21億 42百万円

当期概要

前期との比較では、車輛・建機などの RORO 船荷役が堅調に増加しましたが、外貿コンテナの取扱い量が年度後半に回復したものの、年度前半における大きな減少を補うには至らず、事業全体では減収減益となりました。

来期の見通し

港湾事業においては、当社コンテナターミナルでの外貿コンテナの取扱い増加、堅調を続ける RORO 船荷役を見込みますが、下払い作業費の増加などコストの上昇圧力により、当該事業の営業収入は 225 億円、経常利益は 20 億円を予想しております。

営業
収入
予想

225 億円

経常
利益
予想

20 億円

プラント・物流事業

一般貨物の輸送および取扱業、貨物保管荷捌および通関業、大型機械・機器等の輸送据付、保繕作業および構内作業



営業
収入

350億 12百万円

経常
利益

14億 38百万円

当期概要

プラント事業では、海外での大型プラント組立工事が完工し、営業収入、経常利益に大きく貢献しました。国内では、多軸台車（スーパーキャリア）による省スペースで機動性が高い工法を活かした橋梁工事の実績を順調に積上げました。物流事業では重量物輸送や工作機械などを中心に取扱い量を増やしましたが、港湾地区の慢性的な道路渋滞は著しく、車輛回転率の低下による下払い費用の増加をはじめ、コスト上昇圧力が強まりました。事業全体では、増収増益となりました。

来期の見通し

プラント・物流事業のうちプラント分野では、電力向け重量物の輸送と据付、特殊機材を活かした橋梁架設と撤去、石油化学や再生エネルギーなど各種プラント組立、それぞれを安全かつ確実な施工で推し進め、物流分野でも、料金改定による収益改善、TPP11、日欧 EPA の発効により増加が見込まれる輸入貨物の取扱い増加、倉庫の採算向上を見込みます。しかしながら、前期の営業収入および経常利益に大きく貢献した海外での大型プラント工事が前期で完工し、新規工事受注までの端境期を迎えていること、さらにドライバー不足と港湾地区での道路渋滞を背景とした備車コストの上昇が続くことから、当該事業の営業収入は 328 億円、経常利益は 8 億円を予想しております。

営業
収入
予想

328 億円

経常
利益
予想

8 億円

その他

自社ビル含む不動産賃貸等

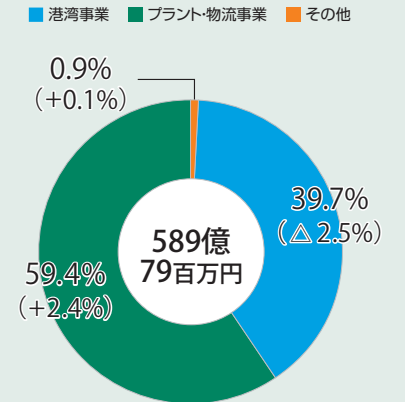
営業
収入

5億 38百万円

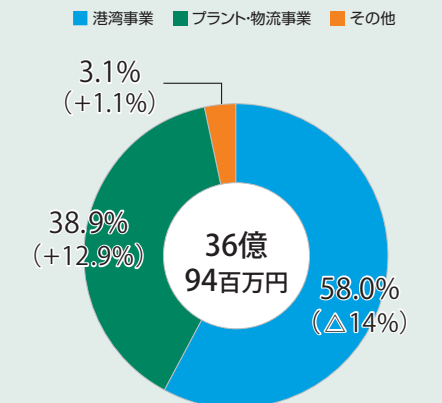
経常
利益

1億 14百万円

セグメント別営業収入



セグメント別経常利益



大型原油タンカー搭載用のSOxスクラバー輸送を完遂
SOxスクラバー製造メーカーの鹿島工場からシンガポールへ輸送

2018年9月、当社は株商船三井の大型原油タンカー「LIBRA TRADER」に搭載するSOxスクラバーの輸送を完遂いたしました。当社の作業内容は、円筒型の大型貨物であるSOxスクラバー本体（長さ8.32m×幅5.92m×高さ5.43m、重量約18t）を製造メーカーの鹿島工場から出荷し、鹿島港まで輸送・通関・船積み、シンガポールで荷揚げ・現地造船所までの輸送となります。

工場から港まで（約7.5km）の輸送を行うにあたり、ルート選定や障害物の確認、デモ走行などを行いました。また、公道輸送となるため工程表や図面を含む輸送計画書を作成



1. 工場から鹿島港へ輸送



2. シンガポールで荷揚げ

し警察署を含む関係各所へも届出を行い、工場出荷当日は問題無く輸送を完了、通関後にシンガポールへ輸送されました。シンガポールでは、特殊車両の通行許可は日本より取得しやすいものの、警察車両の帯同が必要となります。厳重

に造船所まで輸送、荷卸しが実施され、すべての輸送が終了いたしました。

SOxスクラバーは、SOx規制への対応策の一つとして既存船への取付けの動きが加速しています。今後も同種貨物の輸送が見込まれることから、この経験をもとに類似案件に取り組んでまいります。



3. 警察車両が帯同し、造船所まで輸送



4. 造船所で荷卸し

SOx規制

船舶からの排出ガス中の硫黄酸化物(SOx)による人の健康や環境への悪影響を低減するため、海洋汚染防止条約により燃料中の硫黄分濃度が世界的に規制されています。2020年よりSOx規制は強化され、高硫黄燃料油を不正使用させないための制限として、船舶へのスクラバー（排ガス浄化装置）搭載や規制適合油への燃料転換が推奨されています。

株式の状況 (2019年3月31日現在)

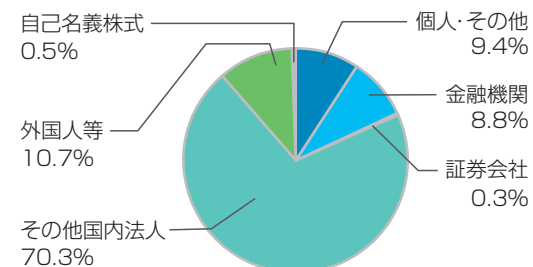
発行可能株式総数 96,000,000株
発行済株式総数 43,448,099株
議決権を有する株式数 43,236,200株
株主数 2,705名

大株主の状況(上位10位)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社商船三井	28,919	66.9
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,600	3.7
株式会社光通信	1,068	2.5
KBL EPB S.A. 107704	801	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	639	1.5
三井住友信託銀行株式会社	574	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	520	1.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	428	1.0
GOVERNMENT OF NORWAY	345	0.8
三井住友海上火災保険株式会社	332	0.8

(注)出資比率は自己株式 200,786株を控除して計算しております。

所有者別の状況



会社の概況 (2019年6月27日現在)

商号 株式会社宇徳
本社所在地 神奈川県横浜市中区弁天通六丁目 85 番地
創業 1890年(明治23年)3月1日
設立 1915年(大正4年)12月8日
資本金 21億5,530万円
従業員数 1,746名(連結) ※2019年3月末現在
主要な事業内容 港湾運送事業、海上運送事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、通関業、建設業、不動産業

役員
代表取締役社長 田邊 昌宏
代表取締役副社長 奥野 淳
専務取締役 小川 宏
常務取締役 北見 毅彦
常務取締役 廉岡 卓
常務取締役 佐々木 敏幸
取締役 小嶋 茂
取締役 鍋田 康久
取締役 片野 英明
取締役 赤羽 正光
取締役 小川 真司
※1 取締役 渡会 一郎
※1 取締役 桜田 治
※1 取締役 中井 元
常勤監査役 飯田 知己
※2 常勤監査役 津田 昌明
※2 監査役 沖 恒弘
監査役 実 謙二

(注) ※1は、社外取締役であります。 ※2は、社外監査役であります。

宇徳グループ 17社
宇徳トランスネット(株) 宇徳ロジスティクス(株)
九州宇徳(株) 宇徳プラントサービス(株)
宇徳港運(株) ターミナル・エンジニアリング(株)
宇徳ターミナルサービス(株) 宇徳流通サービス(株)
(株)宇徳ビジネスサポート アジアカーゴサービス(株)
ASIA UTOOC PTE.LTD. UTOOC ENGINEERING PTE.LTD.
UTOOC(THAILAND)CO.,LTD. UTOOC AMERICA,INC.
UTOOC PLANT CONSTRUCTION SDN.BHD.
宇徳物流(天津)有限公司
UTOOC MULTIPACK MYANMAR CO., LTD.